

滋賀大学教育学部後援会だより

CONTENTS

後援会会長・学部長等挨拶	1
教育学部の現状と将来展望	2~3
卒業式・入学式、入学試験の状況	4~5
後援会支援活動・大学の動き	6~7
海外留学・卒業生就職状況一覧	8~9
後援会会計報告等	10~11
行事・学年歴	12
就職体験記	13~19
創立15周年記念事業・編集後記	20

つるばみ

VOL.16

編集・発行

〒520-0862 大津市平津二丁目5-1

滋賀大学教育学部後援会事務局

Tel.077-537-7703

後援会会長挨拶

教育学部後援会会長 今井 信宣



今井後援会会長

この度、後援会会長を仰せつかりました。今井でございます。後援会の皆様におかれましては、平素より後援会活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、新たにご加入いただいた会員の皆様には、ご加入を心より歓迎いたします。

今年度、教育学部は150周年を迎えました。この記念すべき150年という節目の年を迎えることができましたのも、これまでさまざまな形で教育学部を支えてくださった皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げます。

後援会におきましては、引き続き、学生の皆さんが勉学と課外活動に励み、有意義な学生生活を過ごしていただけるよう、大学と連携を図りながら、後援会活動に取り組んで参りたいと思っておりますので、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

学部長挨拶

教育学部長 久保 加織

皆様には、平素より滋賀大学教育学部の教育・研究活動に対し、温かいご支援とご高配を賜り、心より御礼申し上げます。本年、教育学部および附属小学校は創立150周年という節目の年を迎えました。11月8日には記念式典の開催を予定しており、これまで本学部を支えてくださった皆様への感謝を申し上げますとともに、今後の50年・100年を見据えた未来志向のビジョンを共有

する機会といたく存じます。現在、本学部では文部科学省の「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」に採択され、入学前から卒業後に至るまで一貫した教員育成体系の整備に取り組みしております。今後も未来の教育を創造する人材の育成に力を尽くしてまいります。引き続き、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副学部長挨拶

総務担当 芦谷 道子

このたび、総務担当副学部長を拝命し、学部の予算編成や施設整備等を担当することとなりました。キャリア支援、学生の厚生福祉、就職支援、国際交流事業など、幅広い分野において、後援会の皆様より多大なるご支援を賜り、心より御礼申し上げます。学生の皆さんが充実した学生生活を快適に送れるよう、より良い環境の整備に努めてまいります。今後とも変わらぬご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副学部長挨拶

学生・就職支援担当 井ノ口 史

今年度より学生・就職担当の副学部長を務めております。学生生活全般（クラブ・サークル活動等）や教員採用試験の支援などに関わっております。学校教育の役割は年々多様化してゆきますが、子どもたちに向き合う教員を養成する教育学部の存在意義が失われることはないと思っています。2025年は学部創設150周年の記念の年にあたります。教員を目指す学生たちの未来のために、後援会の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副学部長挨拶

教務担当 右田 正夫

本年度、教務を担当いたします。昨年度は、本学部が令和2年度より実施して参りました「教育データサイエンス」養成プログラムで初めての教育データサイエンス2名が誕生しました。また、後援会の皆様のご支援により、一昨年度から2年がかりで情報演習室のミートイングテーブル、椅子などを更新することができ、本学が推進するプロジェクト学習のための環境が大きく改善されました。これからも、本学部の教育課程や教育内容の充実のために尽力して参りますので、今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副研究科長挨拶

太田 拓紀

大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）では、さまざまな教育課題の解決に向けた学修を展開しています。そのために、研究者・実務家双方による研究指導、授業・実習における教育委員会・教育関連施設からの協力・援助など、多様な連携に基づく指導体制を構築してきました。開設9年目を迎え、教育委員会や管理職として勤務する修了生も増えてきており、成果を実感しております。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



井ノ口副学部長、芦谷副学部長、久保学部長、右田副学部長、太田副研究科長(写真左から)

教育学部の現状と将来展望

教育学部長・大学院教育学研究科長 久保加織



昨年度より教育学部長を務めております久保でございます。平成8年4月に滋賀大学に着任以来、食物学を専門として、教育・研究に携わってまいりました。今年、創立150年をむかえた教育学部は、滋賀県をはじめ各地に優秀な教員を送り出し、地域社会の発展に貢献してきました。これからも教職に対する情熱と誇りを持ち、日々学び続ける力量ある教員の養成を進めてまいりたいと考えております。

教育学部の現状

現在、AIやビッグデータ、IoTといった技術の急速な発展に伴って社会の在り方が劇的に変化し、学校教育も変革を迫られています。第6期科学技術・イノベーション基本計画において、我が国が目指すべき

Society5.0の未来社会像を、「持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ (well-being) を実現できる社会」と表現しています。この未来像実現のために、未来を担う子どもたちに、予測不能な未来社会を主体的に生きる力、多様性を尊重する社会の発展に創造的に参画する力を育成することが求められます。滋賀大学教育学部では、①問題発見・課題解決的な学び (STEAM教育、探究学習、プロジェクト型学習など) を実践できる教員、②データサイエンスを活用できる教員、③ダイバーシティ教育の視点を備えた教員の養成と研修を目標としております。

昨年、文部科学省「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部 of 機能強化事業」に採択され、入学前から一貫した「教育データサイエンス/ICT/DX活用力と地域教員マインドの醸成」をすすめ、「これからの『滋賀型』学校教育をけん引する教員養成」に取り組んでおります。本事業では以下の3つの柱を基本とした教員養成に取り組み

ます。

第1の柱は、「確かな教育実践力、ダイバーシティ教育力、環境教育力の育成」です。これらの力は、教員のベースとなる力として、これまでも育成に努めてまいりました。STEAM教育等の課題解決的な

学び、体験的な学びを積極的に取り入れて、問題発見・課題解決的で教科を横断した学びを充実させ、将来、教員として未来の社会を構築する原動力となる子どもたちを導く力を身につけることを目指しています。例えば、1回生必修科目の環境教育概論において、食農について体験的に学ぶ授業を展開しています。なお、環境教育概論における食農体験授業で収穫した米は、学生が自宅に持ち帰って炊飯・試食に用いる以外に、北島酒造株式会社 (湖南市) のご協力のもと、オリジナル日本酒

「滋賀大学 琵琶くみ」の製造につながっております。昨年度からは、教育学部だけでなく、経済学部やデータサイエンス学部の学生も一緒にチームを組んで、学生自主企画「琵琶くみプロジェクト」を進めてくれています。様々な企画を実施しておりますので、お目に留まりましたら幸いです。また、ダイバーシティ教育にかかわっては、「ダイバーシティ科目群」履修プログラムにより、特別支援、国際理解、いじめ・不登校問題や幼小中連携への対応力の向上を

推進しております。科目群には、講義と活動 (体験) が含まれており、活動 (体験) には滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センター (愛称「おとさば」) での支援活動も位置付けており、修得者には電子証明 (オーブンバッジ) を授与します。

第2の柱は、「データサイエンスを教育に活用する力の育成」です。ICT活用に関する豊かな知識・技能とその指導能力を持ち、データに基づく意思決定への理解を深め、個別最適な学びを指導できる力と、倫理的な配慮に基づいてデータを活用できる子どもたちを育てることのできる力を養います。滋賀大学では、教育理念である「文理融合」の実現を目指し、「滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」を進めています。全学共通教養科目の自然科学分野に「数理・データサイエンス領域」を位置づけ、この領域の科目の修得を必修としています。この科目は、文部科学省からは、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの「リテラシーレベル」に認定されており、さらに所定の科目の単位修得により、「応用基礎レベル」にも認定されます。また、「教育データサイエンス」養成プログラムの実施しており、科目の修得者を「准教育データサイエンス」として認定するとともに、ITパスポート試験、基本情報

技術者試験、応用情報技術者試験のいずれかに合格し、統計検定3級以上を取得した者を「教育データサイエンティスト」として認定しております。なお、「滋賀大学数理・データサイエンス・AI教育プログラム」「教育データサイエンティスト養成プログラム」では電子証明(オーブンバッジ)を授与します。

第3の柱は、「地域教員マインドの醸成」です。地域資源を活用した小・中学校現場での教育参加体験を充実させ、教育の実際を学び、地域への理解を促します。これまで、教育実習を附属学校園と大津市、栗東市、守山市、草津市の公立学校で実施してきましたが、現2回生からは、これらに加え、彦根市、米原市、長浜市の公立学校でも実施します。これにより、様々な地域の特徴とその特徴を活かした地域資源を活用した教育が実践されていることをこれまで以上に体験的に理解することが可能になると考えています。また、4回生には、教職大学院と連携した教職現場に近い学びを得る研修を実施するとともに、教職大学院で学ぶ現職教員院生との交流につなげ、実践教育力の向上を図っています。

います。全学共通教養科目の所定の科目の修得者には、電子証明(オーブンバッジ)を授与します。

教育学研究科の現状

教育学研究科には現在、学校教育専攻(修士課程)と高度教職実践専攻(教職大学院)がありますが、教員養成と教員研修機能の高度化をさらに進めるため、令和3年度より学校教育専攻の学生募集は停止しております。

教職大学院では、学校経営力開発コース(現職教員対象、学校経営の実践的な力量をもつ地域全体の学校改善を促すトップリーダーの育成)、教育実践力開発コース(現職教員対象、学校の課題を実践的に解決できる高度な力量を備えたミドルリーダーの育成)、授業実践力開発コース(主に学部新卒学生対象、確かな教科指導力と学級経営力、新たな学びを創造できる教員の育成)、ダイバーシティ教育力開発コース(子どもの多様なニーズに応じた成長・発達を支援できる専門的な力量の育成)での4コース体制で教育を行っています。研究者教員と実務家教員が協働して授業を実施するとともに、高度な実践力を身につけるために、理論と実践の往還を図り、滋賀県下の小・中学校や滋賀県総合教育センター、附属学校園等において

様々な実習を実施しています。毎年、滋賀県内の公立小・中学校の現職教員が約15名、院生として派遣されて学んでおり、現職教員学生と学部新卒学生が協働して学び、世代を超えたつながりを醸成する場ともなっています。

教職大学院では、文部科学省から「デジタルと掛けるダブルメジャー大学院教育構築事業」Xプログラム」に採択され、教育のDX化とGIGAスクール構想に対応する地域リーダー教員を輩出する「教職大学院 教育データサイエンス人材育成プログラム」を実施しており、所定の単位取得により、滋賀県教育委員会から専修免許状に「教育データサイエンス」が付記されます。

さらに、滋賀大学は、兵庫教育大学連合学校教育学研究所(博士課程)の構成大学でもあります。昨年度は滋賀大学配属学生2名に博士(学校教育学)の学位を授与しました。現在の滋賀大学配属学生数は7名です。

教育学部創立150周年と将来展望

1875年に滋賀県に小学校教員伝習所が設立したのが教育学部と附属学校園(小学校)の歴史の始まりです。創立150周年を良い契機とし、現役の学生、卒業生、大学・附属学校園の繋がりを深め、200周年

に向け、滋賀大学教育学部の価値を一層高めていきたいと考えております。学園祭(紫雅祭)開催中の11月8日(土)には、記念式典を挙行するとともに、ホームカミングデーも開催します。また、滋賀大学教育学部における教員養成に関わるシンポジウムを12月24日にピアザ淡海において開催する予定です。他にも、附属音楽教育支援センター(おとさば)によるコンサートや展覧会をはじめ、1年を通して様々な記念事業を実施いたします。詳細はホームページ等でお知らせします。ご参加を心よりお待ちしております。

教育・研究環境として、昨年度までに講義棟(C棟)、自然科学棟(B棟)の改修が完了し、今年度は人文社会教育棟(A棟)の改修が進行中です。学部と附属学校のスマートクラスルーム化を進め、遠隔での双方オンライン授業や活動、これからの少子化に対応する学校間連携に関わる研究を推進するための環境整備も進めております。

これからも時代にふさわしい、教員養成の中核を担う学部・研究科として、教育・研究活動の一層の充実には、今後ともお力添えのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 卒業式

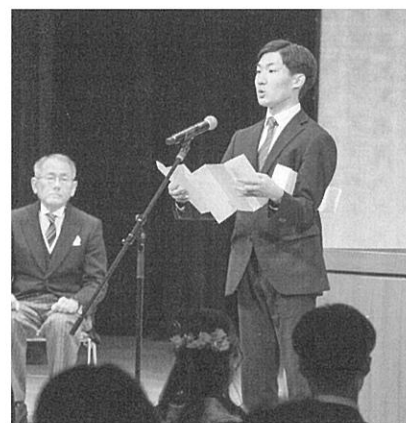
3月26日(水)、滋賀大学卒業証書・学位記、大学院研究科学位記、特別支援教育専攻科修了証書授与式を挙行了しました。式典は、今年度も2部制(11:00～は教育学部・大学院教育学研究科・特別支援教育専攻科、14:30～は経済学部・大学院経済学研究科、データサイエンス学部・大学院データサイエンス研究科)でひこね市文化プラザにて挙行されました。



学位記を授与される藤井さん

今年度は、教育学部218名、大学院教育学研究科高度教職実践専攻(教職大学院)25名、特別支援教育専攻科7名ほか、経済学部4230名、大学院経済学研究科博士前期課程21名、データサイエンス学部卒業生92名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程21名、大学院データサイエンス研究科博士学位授与者3名の合計8309名が本学を巣立ちました。

竹村学長から学部、大学院、専攻科の代表者への卒業証書等の授与に続き、学長式辞で卒業生へはなむけの言葉が贈られたのに続いて、在校生代表の教育学部3回生 西村圭右さんからお祝いと感謝の言葉、また、卒業生代表の教育学部卒業生 佐内愛佳さんから今後の決意と教職員、在校生への感謝の言葉が述べられました。



「送辞」を述べる西村さん

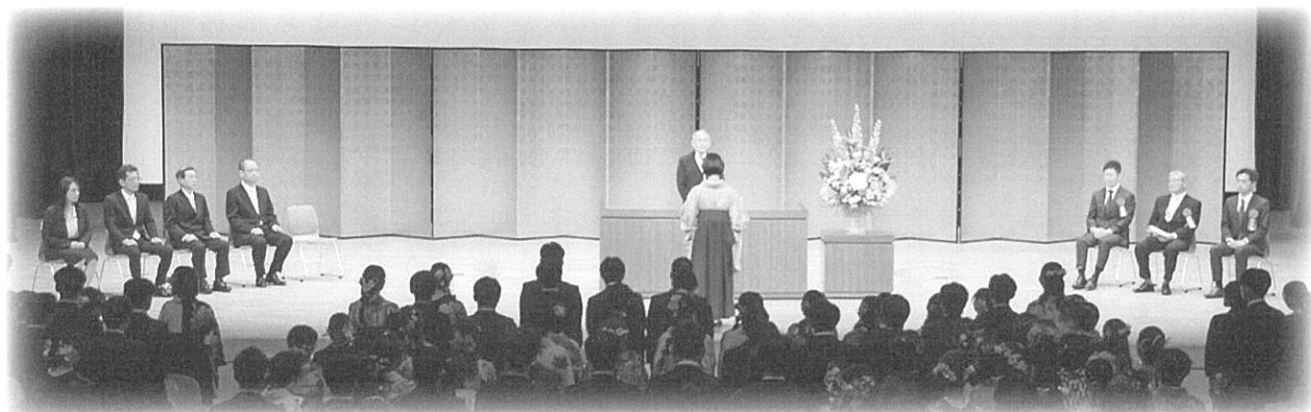


竹村学長からの「式辞」

教育学部学校教育教員養成課程 代表 藤井 駒里さん
大学院教育学研究科教職修士(専門職)高度教職実践専攻 代表 玉川明日香さん
特別支援教育専攻科 代表 芝本菜々羽さん

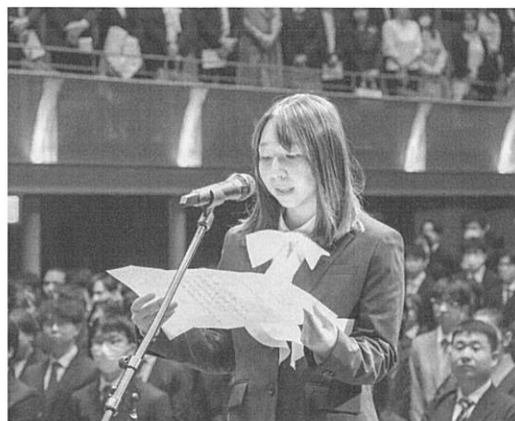
また、学業成績優秀者学長賞表彰も併せて行われ、教育学部、経済学部、データサイエンス学部において在学期間中に最も優れた学業成績を挙げた3名に、竹村学長から表彰状と記念品が贈られ、その努力と成果を称えました。

●学業成績優秀者学長賞表彰者
教育学部卒業生 佐内 愛佳さん



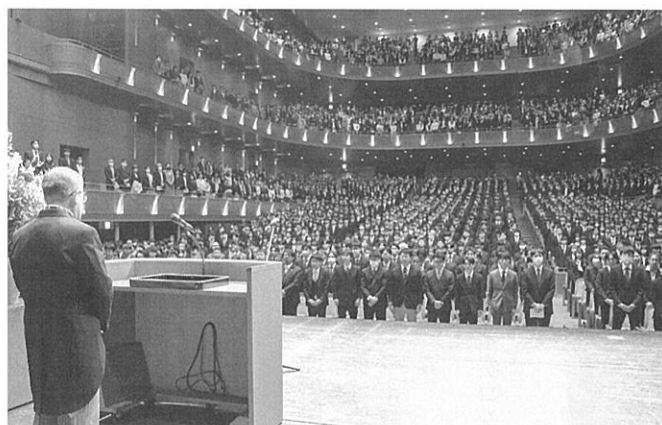
会場の様子(ひこね市文化プラザ)

令和7年度 入学式



「誓詞」を読み上げる大西さん

4月4日（金）、大津市びわ湖ホールにおいて、令和7年度滋賀大学入学式を挙行了しました。今年度は、全学生を対象に一斉に教育学部241名、大学院教育学研究科高度教職実践専攻（教職大学院）21名、特別支援教育専攻科8名、経済学部443名、データサイエンス学部160名、大学院経済学研究科博士前期課程28名、大学院経済学研究科博士後期課程3名、大学院データサイエンス研究科博士前期課程82名、大学院データサイエンス研究科博士後期課程6名の総計992名が、学生生活の新しいスタートを切りました。



会場の様子（びわ湖ホール）

式典は、新入生代表による入学者宣誓から始まり、学長式辞、来賓の祝辞、在学生による歓迎の辞、役員紹介の順で進行了しました。

入学者代表 教育学部 入学生 大西玲奈さんから「誓詞」が読み上げられ、続いて竹村学長から「滋賀大学の中期目標のキーワードは未来創生大学です。皆さんが滋賀大学での学びを通して、未来を切り開く人材に育ってくれることを願っています。」と式辞がありました。

新入学生の皆様が今後、本学で勉学に励み、充実した大学生活を送ることを願っています。

令和7年度 入学試験の状況

教育学部

課 程	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
学校教育教員養成	230	(2)755	(2)615	(1)259	(1)241

*（ ）は私費外国人留学生を内数で示す。

大学院教育学研究科

専 攻	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
高度教職実践	35	27	26	21	21

特別支援教育専攻科

専 攻	定員	志願者	受験者	合格者	入学者
障害児教育	30	8	8	8	8

教育学部都道府県入学者数

宮城県	1	茨城県	1	埼玉県	2	千葉県	1	東京都	3	神奈川県	1	富山県	3	石川県	2
福井県	15	長野県	2	岐阜県	5	静岡県	4	愛知県	3	三重県	4	滋賀県	85	京都府	51
大阪府	30	兵庫県	10	奈良県	1	和歌山県	4	島根県	1	岡山県	2	広島県	1	山口県	2
徳島県	2	香川県	1	愛媛県	1	高知県	2	私費留学生		1					

大学全体

教育学部	241
経済学部	443
データサイエンス学部	160
大学院教育学研究科	21
大学院経済学研究科	31
大学院データサイエンス研究科	88
特別支援教育専攻科	8
入学者合計	990

（経済学部の入学者に政府派遣留学生1名、国費留学生1名を含む）

後援会支援活動

令和6年度後援会理事会等

令和6年4月4日(木) 総会

(入学式終了後)

【議事】役員改選(案)、5年度決算、6年度予算(案)、大学関係報告(授業関係・就職状況・学校行事関係等)

令和6年11月9日(土) 理事会

学園祭実施日

【議事】学生表彰、学部の実況、授業・教育実習、就職状況、学校行事等、会計中間報告等

令和7年3月15日(土) 理事会

【議事】学生表彰、役員改選(案)、6年度決算、7年度予算(案)、学生表彰、学部の現況、大学関係報告(就職状況・入試状況等)

後援会学生表彰

令和6年12月23日(月)及び令和7年3月28日(金)に令和7年度教育学部後援会学生表彰授与式を挙行了しました。

後援会学生表彰は、本学部・大学院及び特別支援教育専攻科の学生を対象に体育・文化活動等に関し顕著な成果を挙げ、大学の名誉を高めたものに對して、表彰することを目的にしております。表彰者には、後援会より表彰状及び副賞が授与されました。

※高島悠さん、吹奏楽団は欠席

表彰者

教育学部1回生 高島 すみれ

滋賀大学教育学部150周年ロゴマークの作成

大学院教育学研究科1回生 佐藤 颯

日本科学技術振興財団主催

2024年度放射線教育教材コンテスト 優秀賞

教育学部4回生 高島 悠

第78回滋賀県美術展覧会 金賞、第74回大津市美術展覧会 市教育委員会教育長賞

吹奏楽団

第22回中部日本個人・重奏コンテスト 滋賀県大会 金賞



(写真上)左から高島すみれさん、久保学部長さん、佐藤颯さん(写真右)表彰状とともに

茶道部 (毛氈の購入)

この度は、毛氈の購入に際しご援助を賜り、誠にありがとうございます。滋賀大学茶道部には現在22名が所属しており、日々礼儀作法や心のあり方を大切にしながら活動を行っております。従来使用していた毛氈は、長年の使用により色あせやほつれが目立ち、茶道で大切にされている礼節や美しさの面でふさわしい状態とは言えなくなっております。毛氈は茶席における所作や設えに欠かせない大切な道具



ですが、高価なため部の予算では新調が難しく、今回このような形でご支援をいただいたことに、部員一同、心より感謝申し上げます。

新しく購入させていただいた毛氈は、上品な色合いとしつかりとした厚みがあり、茶道の雰囲気より一層引き立ててくれるものです。おかげさまで、稽古の場もより引き締まり、部員たちの意識も一段と高まりました。日々の稽古に加えて、茶会や出店の際にも大切に使用させていただきます。

現在茶道部では、新入生を迎え、週に1回の稽古を中心に活動を行っております。それぞれが茶道の奥深さに触れながら、所作の一つ一つに心を込めることの大切さを学んでおります。今後は、より多くの方々に茶道の魅力を感じていただけるよう、活動の幅を広げていきたいと考えております。

このように私たちが充実した活動が続いていくのも、後援会の皆様をはじめ、日頃よりご支援くださっている皆様のおかげです。改めて深く御礼申し上げます。いただいた毛氈は、これから部員全員で大切に使用してまいります。

この度はご支援いただき誠にありがとうございます。

陸上競技部

(トレーニング用そり等の購入)

この度、私たち陸上競技部は、後援会よりウォーキングメジャー・巻尺・トレーニング用そりを購入していただきました。いつもご支援とご協力、誠にありがとうございます。

陸上競技部が普段から使っている道具は古いものが多いので、どれも大切な部活道具として壊さないように丁寧に扱ってきました。しかし、その中でも特にウォーキングメジャーは持ち手を調整する部分が壊れてとても短く、巻尺はテープの部分がボロボロで、片付けで巻くときに引っかかったり絡まったりしており、使いづらさを我慢しながら使ってきました。また、トレーニング用そりは紐の部分がなく、引っ張ることができないので使いようがなく放置されていました。そのような中で今回新たにウォーキングメジャー・巻尺・トレーニング用そりを購入して



いただき、感謝の気持ちでいっぱいです。少ない部費の中で物品の購入にはなかなか手回らなかったのですが、新しい道具を使うことができ、部員一同本当に

嬉しく思っております。

3月後半に物品が届き、4月に新たな部員が入ってきました。新たに迎えた部活動用具や力のある1年生と共に、より高みを目指して練習に励んでいます。今年度の関西インカレは、標準記録を惜しくも突破できず悔しい思いをした部員がたくさんいました。その思いをバネに、記録突破を目指して部員全員で頑張っています。今現在は6月の滋和戦勝利に向けて、新たなウォーキングメジャーで走る距離を測り、巻尺を置いてミニハードルやマーカーを設置し、トレーニング用を引く張って足を鍛える日々です。

今回購入していただいた物品は、長期的に使用できるように、これまでの部活動用具と合わせて大切に扱っていく所存です。この度は本当にありがとうございました。

アカペラサークル MEBA☆CHIKO (マイク等ケーブルの購入)

この度は機材を支援していただき、誠にありがとうございます。滋賀大学教育学部アカペラサークルMEBA☆CHIKOには現在56名が所属しており、活動に励んでいます。しかしながら、機材を長年使用しているため、スピーカーから異音が鳴ることがあり、ライブでの歌唱に影響が及んでいました。今回支援していただいた機材は僕たちの活動の幅を大きく広げてくれています。例えば、以前はコードの長さが短かったため、音量を調整する人と演者の距離が近く、聴き手との聴こえ方が異なり、正確な調整が難しい



状態でした。しかし、支援していただいた機材のおかげで、音量を調整する人が聴き手に近くなり、よりよい聴こえ方を追求することができるようになりました。

前はマイクのコードが演者の横に延びており、パフォーマンスとして踊ったり、隊形移動をしたりする際に邪魔になっていました。支援していただいた機材を導入してからは演者の後ろにコードを延ばすことができるようになったので、パフォーマンスへの影響が少なくなり、よりよい演奏ができるようになったと感じています。

四月になり新しく部員が増え、週一回ではございますが元気に活動しております。年に数回ある皆様の前で演奏する機会にむけて、より良い演奏をお届けできるように練習に取り組みさせています。学年や役職の壁を感じがあるところが特徴的なサークルです。今年はより一層練習に力を入れ、MEBA☆CHIKOの活動を外部へ広げていくことを目標にして頑張っています。

こうして私たちが活動できるのは、後援会の皆様をはじめ、私たちアカペラサークルMEBA☆CHIKOに

ご協力を下さり応援してくださる皆様のおかげです。心より御礼申し上げます。今後とも、支えてくださっている皆様に対する感謝の気持ちを忘れずに、日々精進してまいります。

今回購入して頂いた機材は、サークル員全員で大切に扱っていく所存です。この度はご支援本当にありがとうございました。

大学の動き

保護者懇談会の開催

11月9日(土) 教育学部において、保護者懇談会を開催しました。

保護者懇談会は、学生の保護者に授業や大学生活の様子などへのご理解を深めていただくことを目的としてお



保護者懇談会の様子

り、対面とオンラインのハイブリッド形式で実施し、あわせて約160名の参加がありました。

今回は、久保加織学部長、長谷川・渡辺・芦谷副学部長より、教育学部の現状、授業・教育実習、就職状況・就職支援体制等について報告の後、保護者からの質疑に回答を行いました。

懇談会終了後、対面で参加の保護者には、同日キャンパスで行われていた紫雅祭(学園祭)をご覧いただきました。

自然科学棟改修工事(Ⅱ期)

4年度のⅠ期工事に引き続き、令和6年度、自然科学棟のⅡ期改修工事が行われました。実験室、実習室等を整備し、模擬授業を通じた教育実践力の向上、現職教員のキャリアアップ機能の向上を図ります。



自然科学棟

海外留学

オーストラリア研修

ディーキン大学（オーストラリア）

学校教育教員養成課程

2回生 北川 綾菜さん

私は、2025年2月から3月の一か月間、オーストラリアのメルボルンで短期留学をし、ディーキン大学にある語学学校に通いました。授業は、オールイングリッシュでしたが、自分のレベルに合ったクラスだったので、先生が言っていることはある程度分かりました。しかし、

わからないときは、クラスメイトに英語で聞き、英語で教えてもらいました。授業の日に、校外学習として、クラスでメルボルンを観光したのは、とても楽しくクラスメイトとの距離が縮まった出来事の一つです。私のクラスは、日本人、中国人、カンボジア人で構成されていましたが、休み時間にお互いの言語を教え合ったり、クラスメイトの誕生日をみんなで祝ったり、とても仲が良かったです。

私のクラスが一番大きなプロジェクトは、ラジオ製作でした。それは、ラジオで話す原稿、CM、広告を一人からグループで作成し、レコーディングスタジオで録音するというものです。このプロジェクトは、自分が

想像していたよりも大変で、本当に完成させられるのかと何度も思いました。しかし、グループみんなで協力し、レコーディングし、完成したラジオを聞くと、上手くできていて、今でも私の宝物の1つとして残っています。

私が短期留学中に大事にしていたことは、できるだけ多くの人達と関わることです。私は、毎週土日に開催される学校主体のツアーに全て参加し、平日のランチタイムや放課後に開催されるイベントにもできるだけ参加しました。具体的には、有名な海や動物園に行くツアーや映画鑑賞、お菓子作り教室などです。イベントに参加して、私は、ディーキン大学に学籍する中国人とベトナム人の友達ができました。彼らは、とても優しく、私の拙い英語を聞き取り、会話してくれ、時には私の英語の先生として英語をおしえてくれました。彼らとは、学校で一緒にお昼ご飯を食べたり、一日遊びに行ったり、とても仲良くしてくれました。日本にいる今でも彼らとは、SNSを通じてメッセージのやり取りをしています。

私が一番異文化を感じたことは、オーストラリアの水事情です。私のホームステイ先では、洗濯機は週2回たくさん洗濯物がたまっている時だけ使ってもいいというルールでした。また、シャワーは、10分以内

というルールもあり、最初はとても驚きましたが、彼らの生活ではそれが当たり前なので、このルールにも徐々に慣れていきました。

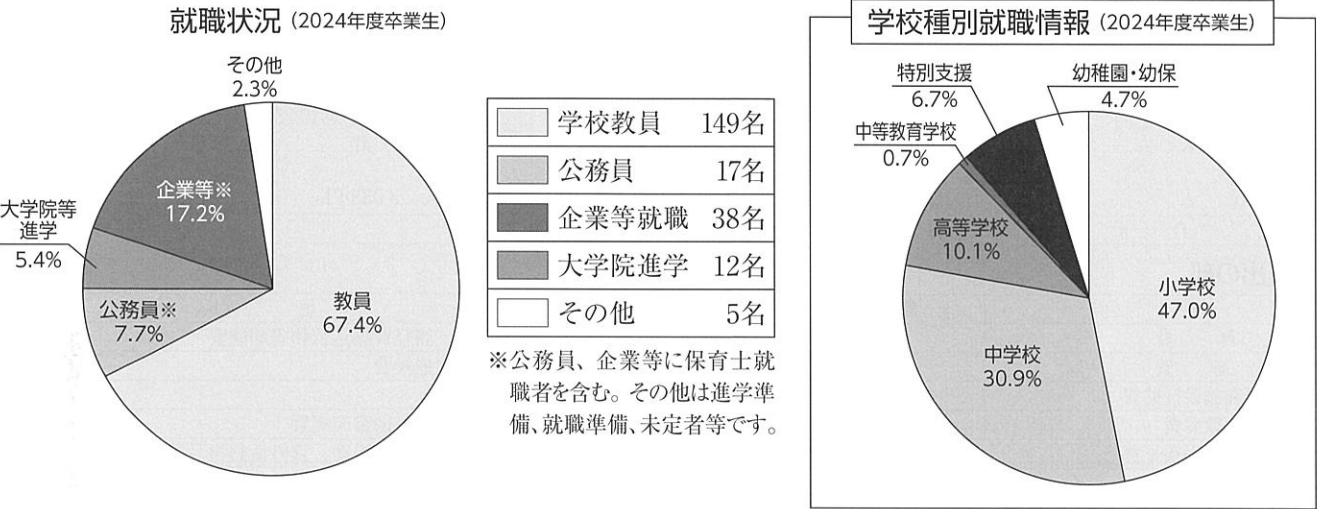
今回の短期留学は、私のこれまでの人生の中で一番とっていい程楽しい時間でした。毎日が刺激的で、言語や文化の壁を感じて苦しかった時もありましたが、それをはるかに上回るほど楽しいことばかりでした。今回の短期留学を通じて、これからも進んで国際交流をし、様々な経験を積んで、子どもたちにはいい影響を与えられるような教師になりたいと思います。



令和6年度卒業生就職状況一覧

卒業者数		教 員					公務員		企 業		合 計	未定者	大学院 等進学	その他
		教員採用試験合格者		私学等	非常勤 講師等	合 計			保育士 (内数)	保育士 (内数)				
		滋賀県	他府県											
男 子	88	29	12	0	13	54	9		17		80	0	6	2
女 子	133	55	12	9	19	95	8	1	21	1	124	1	6	2
計	221	84	24	9	32	149	17	1	38	1	204	1	12	4
(比率)		38.0	10.9	4.1	14.5	67.4	7.7	0.5	17.2	0.5	92.3	0.5	5.4	1.8

卒業生221名(春卒3名を含む)の就職・進学状況



学校教育教員養成課程

○学校教員内訳				
	学 校 種	計	男子	女子
1	小学校	70	25	45
2	中学校	46	20	26
3	高等学校	15	8	7
4	中等教育学校	1		1
5	特別支援学校	10	1	9
6	幼保・こども園	5	0	5
7	幼稚園	2	0	2

○大学院進学先内訳				
	大 学 院 名	計	男子	女子
1	滋賀大学大学院	4	3	1
2	京都教育大学大学院	1		1
3	大阪大学大学院	3	2	1
4	和歌山大学大学院	1		1
5	金沢大学大学院	1	1	
6	関西大学大学院	1		1
7	聖路加国際大学	1		1

○公務員				
	事業所名等	計	男子	女子
1	滋賀県庁	4	2	2
2	大阪府庁	1	1	
3	大津市役所	1	1	
4	草津市役所	1		1
5	彦根市役所	1	1	
6	米原市役所	2	1	1
7	甲賀市役所	1	1	
8	京都市役所	2		2
9	亀岡市役所	1	1	
10	大阪市役所	1	1	
11	西宮市役所	1		1
12	甲賀市立保育園	1		1

○産業界・企業別内訳				
製造業				
	会 社 名	計	男子	女子
1	(株)聖護院ハッ橋	1	1	
2	(株)ジャクエツ	1	1	
3	日本電気(株)	1	1	
4	パナソニックエレクトロニクス電材三重(株)	1		1
5	田中精密工業(株)	1		1
6	(株)ダイフク	1	1	
情報通信業				
7	(株)福井新聞社	1		1
8	(株)EDUCOM	1		1
9	京都電子計算(株)	1		1
10	テクマトリックス(株)	1	1	

卸売業、小売業				
11	ケニス(株)	1		1
12	谷村実業(株)	1	1	
13	(株)パローホールディングス	1	1	
14	(株)平和堂	1		1
金融業、保険業				
15	但馬信用金庫	1	1	
16	(株)滋賀銀行	2		2
17	(株)静岡銀行	1	1	
18	(株)徳島大正銀行	1		1
学術研究、専門・技術サービス業				
19	バリューコマース(株)	1	1	
宿泊業・飲食サービス業				
20	(株) FOOD&LIFE COMPANIES	1		1
21	(株)すかいらくホールディングス	1	1	
生活関連サービス業、娯楽業				
22	(株)ニラク	1	1	
23	マリオクラブ(株)	1		1
24	合同会社ユー・エス・ジェイ	1		1
25	(株)エスクリ	1	1	
教育、学習支援業				
26	国立大学法人大阪大学	1		1
27	(株)ヴィリング	1		1

28	学校法人駿河台学園	1		1
29	(株)成学社	1	1	
30	(株)河合塾マナビス	1	1	
社会保険・社会福祉・介護事業				
31	(株)きりんのき	1		1
32	社会福祉法人京都社会福祉協会	1		1
サービス業				
33	(株)ダイヤモンド・ヒューマンリソース	1	1	
34	(株)パソナグループ	1		1
35	総合警備保障(株)	1		1
36	エン・ジャパン(株)	1		1
上記以外				
37	上記以外	1	1	

	就 職 先 等	計	男子	女子
	*学校教員	149	54	95
	*公務員	17	9	8
	*企業等	38	17	21
	*大学院等進学	12	6	6
	*その他	5	2	3
	合計	221	88	133

後援会理事会よりご報告

令和7年4月4日（金）入学式後に開催いたしました教育学部後援会総会には、多数の皆様のご出席をいただきありがとうございました。

総会は、教育学部長の挨拶から始まり、「令和6年度決算、令和7年度予算案」、「令和7年度役員改選」の審議、「令和7年度教育学部行事予定」、「卒業生の就職状況」、「4年間の授業関係等」についての報告がありました。総会で承認いただきました「令和7年度役員改選」及び「令和6年度決算、令和7年度予算書」をあらためて掲載させていただきます。

令和6年度 教育学部後援会 会計決算書（一般会計）

◇収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差引過不足額	備 考
前年度繰越額	1,607,878	1,607,878	0	会費 学部生 @41,000 × 223名 = 9,143,000円 大学院生 @20,500 × 22名 = 451,000円 専攻科生 @10,250 × 7名 = 71,750円 合 計 9,665,750円
会 費 収 入	9,665,750	9,665,750	0	
雑 収 入	68	3,038	2,970	(利息収入 3,038円)
合 計	11,273,696	11,276,666	2,970	

◇支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差引過不足額	備 考
事 務 費	50,000	6,298	43,702	郵送費、諸経費振込依頼書印刷費
会 議 費	150,000	58,816	91,184	理事会開催経費
研究施設援助費	50,000	0	50,000	
学生教養費	550,000	549,445	555	学生用雑誌・図書充実費
学生厚生福祉費	1,950,000	1,949,682	318	対外試合交通費援助、課外活動物品援助等
就職斡旋費	1,500,000	1,470,468	29,532	教職セミナー援助、就職関係図書・就職体験記原稿筆耕援助等
キャリア支援費	2,800,000	2,800,000	0	キャリア支援担当教員人件費
学部援助費	200,000	92,534	107,466	教育実習援助、衛生用具の購入、構内整備関係援助
学部行事費	900,000	189,401	710,599	オープンキャンパスへの援助、構内美化作業に係る援助等
国際交流事業費	1,300,000	652,218	647,782	海外実習事業援助・国際交流事業関連援助
学部広報費	100,000	95,546	4,454	後援会だより
学生表彰費	100,000	70,000	30,000	表彰者副賞代
積 立 金	1,000,000	1,000,000	0	積立金会計へ拠出
情報教育充実費	500,000	500,000	0	情報教育充実会計へ拠出
予 備 費	123,696	0	123,696	
合 計	11,273,696	9,434,408	1,839,288	

収入合計 11,276,666円 — 支出合計 9,434,408円 = 1,842,258円（次年度へ繰越）

令和6年度 教育学部後援会 会計決算書（積立金会計）

◇収入の部

(単位：円)

摘 要	金 額	備 考
前年度繰越額	1,420,111	
一般会計より受入	1,000,000	
利息収入	1,082	
合 計	2,421,193	

◇支出の部

(単位：円)

摘 要	金 額	備 考
課外活動用物品・設備等	998,900	イベント用テント
合 計		

収入合計 2,421,193円 — 支出合計 998,900円 = 1,422,293円（次年度へ繰越）

令和6年度 教育学部後援会 会計決算書（情報教育充実会計）

◇収入の部

(単位：円)

摘 要	金 額	備 考
前年度繰越額	822,380	
一般会計より受入	500,000	
利息収入	65	
合 計	1,322,445	

◇支出の部

(単位：円)

摘 要	金 額	備 考
情報教育充実のための整備	351,246	ウイルスソフト契約に係る経費
情報教育充実のための整備	970,530	情報演習室の整備
合 計	1,321,776	

収入合計 1,322,445円 — 支出合計 1,321,776円 = 669円（次年度へ繰越）

令和7年度 後援会役員名簿

職 名	氏 名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
会 長	今 井 信 宣	監 事	山 路 久 恵	理 事	井 上 和 美
副 会 長	湯 本 五 月	監 事	井 上 亜 希	理 事	佐々木 享 子
副 会 長	松 本 尚 美	理 事	大 西 麻 子	理 事	多 喜 梢
常任理事	桑 原 正 樹	理 事	岡 田 瞳	理 事	富 永 奈保子
常任理事	尾 松 梨 絵	理 事	小 嶋 義 昭		
幹 事	大 谷 紀 子	理 事	三 浦 英 樹		

令和7年度 教育学部後援会 会計予算書（一般会計）

◇収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
前年度繰越額	1,842,258	会費 学 部 生 @41,000 × 235 名 = 9,635,000 円 大学院生 @20,500 × 14 名 = 287,000 円 専攻科生 @10,250 × 5 名 = 51,250 円 合 計 9,973,250 円
会 費 収 入	9,973,250	
雑 収 入	4,000	利息収入
合 計	11,819,508	

◇支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	備 考
事 務 費	50,000	通信費、振込依頼書印刷
会 議 費	70,000	理事会及び総会等開催経費
学 部 後 援 費	研究施設援助費	30,000 教育関係各種団体会費、学会等開催等援助費
	学生教養費	550,000 学生用雑誌・図書充実費
	学生厚生福祉費	1,950,000 課外活動物品・交通費援助、大学祭経費等補助
	就職幹旋費	1,500,000 教職セミナー援助、就職関係図書・就職体験記原稿筆耕援助等
	キャリア支援費	2,800,000 キャリア支援教員人件費
	学部援助費	200,000 教育実習援助、衛生用具の購入・各種イベント援助等
	学部行事費	1,900,000 150 周年記念事業援助・オープンキャンパス・構内美化作業等
	国際交流事業費	1,000,000 海外研修助成、海外実習事業支援・国際交流事業関連援助
	学部広報費	100,000 後援会だより
	学生表彰費	100,000 表彰者副賞代等
積 立 金	1,000,000	積立金会計へ拠出
情報教育充実費	500,000	情報教育充実会計へ拠出
予 備 費	69,508	
合 計	11,819,508	

令和7年度 教育学部後援会 会計予算書（積立金会計）

◇収入の部

(単位：円)

摘 要	予 算 額	備 考
前年度繰越額	1,422,293	
一般会計より受入	1,000,000	
利息収入	1,100	
合 計	2,423,393	

◇支出の部

(単位：円)

摘 要	予 算 額	備 考
課外活動用物品・設備等	2,423,393	課外活動関係物品購入援助等
合 計	2,423,393	

令和7年度 教育学部後援会 会計予算書（情報教育充実会計）

◇収入の部

(単位：円)

摘 要	予 算 額	備 考
前年度繰越額	669	
一般会計より受入	500,000	
利息収入	10	
合 計	500,679	

◇支出の部

(単位：円)

摘 要	予 算 額	備 考
情報教育充実のための整備	500,679	ウイルスソフト契約に係る経費、情報機器等充実
合 計	500,679	

令和7年度 学年暦等・就職・教育実習・入試関係行事

年月	学年暦・学生行事等 日 事 項 等	就職関係行事等 日 事 項 等	教育実習関係行事等 日 事 項 等	入試試験関係行事等 日 事 項 等
2025	1 学年始			
	1-3-4 学生定期健康診断			
	4 入学式			
	5 さくら咲くツアー			
4	7 新入生オリエンテーション			
	8 春学期授業開始			
		10-17-24 教職実践論Ⅱ(第1～3回)小論文指導		
		10-17 教職実践論Ⅱ(第1～3回)【幼保】小論文指導		
	29 授業実施日			
		1-8-15-22-29 教職実践論Ⅱ(第4～8回)小論文・面接等指導	上旬 4回生母校・協力校教育実習(学生による)	
		1-8-15-29 教職実践論Ⅱ(第4～8回)【幼保】面接等指導		
5			19 3回生地域実習(栗東、守山、大津、草津) (実習校による。6/27まで)	24 大学院説明会
	31 開学記念日		4回生附属幼稚園副実習(学生による)	
	2 実習Weeks(6/13まで)		2 3回生附属中学校実習(6/9まで)	
		5-12-19 教職実践論Ⅱ(第9～11回)【幼保】面接指導	5 3回生附属小学校実習(6/13まで)	
6				16～25 大学院入試(7月)願書受付
		21 直前模擬面接【幼保】		
	29 開学祭			
		3 直前模擬面接【幼保】 教職実践論Ⅱ(第11～12回)模擬保育等指導	上旬 3回生特別支援学校介護等体験(班による)	
	12 補講日(全学)			5 大学院入試(7月)
				11 大学院入試(7月)合格者発表
	19 補講日(全学)	16-18-23 教職実践論Ⅱ(第9～11回)模擬授業等指導 (教員採用試験二次試験対策講座)		
	21 授業実施日	17 直前模擬面接		
	23 振替授業日(月曜日の授業)	17-22 二次対策(小学校教員体育実技)		
	23 春学期授業終了			
	24～ 春学期定期試験(7/31まで)			
8	1 夏季休業開始			2 大学院説明会
	2 オープンキャンパス			
	12 学生窓口休業			
	13～15 夏季一斉休業			
			27 3回生地域実習(栗東、守山、大津、草津) (実習校による。11/4まで)	
			3回生附属中学校実習(9/22まで)	
			28 3回生附属小学校実習(9/25まで)	
			1 4回生特別支援学校副実習(9/19まで)	
			2 3回生附属幼稚園実習(10/1まで)	
9		4 教職実践論Ⅱ(第13回)【幼保】二次対策		20 大学院説明会
	25 春学期卒業式・学位授与式			
	30 夏季休業終了			
	1 秋学期授業開始			
		3 3回生就職・教採ガイダンス		
10				6～15 大学院入試(10月)願書受付
	13 授業実施日		15 3回生特別支援学校実習(11/4まで)	25 大学院入試(10月)
				専攻科入試願書受付
				27～30 私費外国人留学生選抜願書受付
		1 教員養成研修	上旬 3回生特別支援学校介護等体験(班による)	
11	3 授業実施日			4～7 学校推薦型・帰国生徒・社会人選抜願書受付
	8 創立150周年記念式典			14 大学院入試(10月)合格者発表
	8-9 大学祭	中旬 教育委員会主催教員採用試験・講師登録説明会		
				22 学校推薦型・帰国生徒・社会人選抜 専攻科入試
				26 私費外国人留学生選抜
12		未定 教職実践論Ⅰ(第1回)		
		未定 教育講演会		
		未定 滋賀県教員採用説明会		12 学校推薦型【地域枠】[特抜枠][一般枠(第1次選考)]、 帰国生徒、社会人選抜、専攻科入試合格者発表
	24 冬季休業開始(1/3まで)			
2026	5 授業再開			
1	10 補講日(全学)			17-18 大学入学共通テスト
	24 補講日(全学)			23 私費外国人留学生選抜合格者発表
	27 秋学期授業終了			26～2/6 前期・後期日程願書受付
	28～ 秋学期定期試験(2/4まで)			
2		上旬～中旬 教職実践論Ⅰ(第2～4回)		10 学校推薦型選抜[一般枠]最終選考合格者発表
		中旬～下旬 春季教職セミナー①～④		18 学校推薦型・帰国生徒・社会人・私費留選抜入学手続
				25-26 前期日程入学試験
3		上旬 春季教職セミナー⑤～⑩		6 前期日程合格者発表
		上旬 教職実践論Ⅰ(第5回)		12 後期日程入学試験
				15 前期日程・大学院(7月・10月)入学手続
				20 後期日程合格者発表
	26 卒業式・学位授与式			27 後期日程・専攻科入学手続
	31 学年終			

先輩たちの
長い道のり

就活

合格体験記【小学校】

滋賀県Mさん（障害児教育専攻）

1. はじめに

この度は、合格体験記を書く機会を頂けたこと、心から感謝いたします。私が教員採用試験を乗り越えることができたのは、終始温かいご指導、ご助言をしてくださった大学の先生方や先輩、ともに合格を目指す仲間の支えがあったからです。そのご恩をこのような形で表すことができ、とても嬉しいことです。この合格体験記が、私と同じように教員を目指す皆さんの力に少しでもなりますよう、心を込めて書かせていただきます。

2. 教師という職を選ぶまで

ここでは、私の校種選択について書かせていただきます。入学当初は、特別支援学校教諭になりたいと思います、障害児教育専攻に入りました。実際に、交流実習やボランティアを通して、特別支援学校教諭になりたい思いは強くなりました。しかし、3年生で行く3週間の小学校実習で小学校教諭がとても魅力に感じ、3年生の冬頃まで迷っていました。最終的に校種の決定に繋がったのは、教員になった時に自分が何をしたいかを考えることでした。私は、教師になったら、子どもたちが「このクラス大好き」と

言えるような温かい雰囲気をつくりたいという思いが一番強くありました。特別支援学校のような少人数学級でもそのような雰囲気づくりは大切ですが、小学校のような大人数学級で多くの子どもたちに「このクラス大好き」と思ってもらえるような学級づくりを行いたいと考え、小学校教員を志望しました。

皆さんも校種選択に悩む時期があるかもしれません。しかし、その悩む時期は、将来の自分の教育軸を見つけることができる貴重な時間に繋がります。その時は、ぜひ「教師になって何を一番実現したいのか」をじっくり考えてみてください。

3. 試験項目とその対策

(1) 一次試験の項目

（1日目）

① 小論文

② 専門科目

③ 教職教養・一般教養

筆記試験

(2) 一次試験の対策

【小論文】

小論文は、大学受験までに経験した人も少なくないかと思いますが、私は今まで経験したことが一度もありませんでした。また、国語が一番苦手科目であったため、一次試験の中で小論文に苦労しました。そんな私でも、一次試験の小論文で高得点をとることができました。ここでは、当日までに私がした対策を3つ紹介します。

1つめは、滋賀大学で教育実践論を受講することです。3年生の12月頃から4年生の8月頃まで行われる講義です。過去に実際に教員採用試験に関わって

これら経験豊富なOBの方や教育関係の方にご指導いただくことができます。ここでの講義では、基礎である小論文の型や文法、まとめ方、他にも何度もして下さる小論文の添削から、先生の言葉を自分のものにしていくことで、確実に小論文の出来はよくなっていきます。ぜひ受講して下さい。

2つめは、友達同士で添削しあうことです。これを行うと、同じお題でも内容が違いため、新たな視点をもちあうことができます。「その内容いいな」「まとめ方うまいな」と思っ取り入れていくことで、どんなお題が出されてもある程度対応できるようになっていきます。

3つめは、滋賀県の教育傾向を掴むことです。小論文の採点者に「この人はほしい！」と思っただくために、ある程度その考え方に沿った小論文を書くことも大切です。そのため、滋賀の教育大綱や滋賀県教育委員会が発行している情報誌「教育しが」を読み込み、どんな教員を求めているのかを調べてそのワードを小論文に取り入れて工夫していました。小論文が苦手な人は、周りの先生や友達が用いる「ワード」をたくさん吸収して自分のものにできれば、必ず良い小論文に近づきます。頑張ってください。

【筆記試験】

筆記試験の勉強を本格的に始めたのは4年生の4月頃でした。筆記試験は、一般教養と教職教養、専門科目（小学校は全科）に分かれています。私は、学内推薦ももらえず勉強の始まりも遅かったので「効率」を重視して試験勉強に励みました。そこで、当日までの流れと、私

がこれはしてよかったと思う勉強方法をこちらで紹介いたします。

まず、過去問を解き、出題傾向の分析から始めました。そこで、知らない単語が多く、暗記が難しいと感じた教職教養を中心に勉強しました。教職教養は『セサミノート 教職教養（東京アカデミー）』を使用しました。20年分くらい滋賀県の過去問を解いて、出た分野や範囲のページに付箋を貼って、そのみ覚ええました。全ページ覚えなないと不安だと思う方にはおすすしませんが、暗記が苦手な方はしほっても問題ないと思います。

一般教養と全科は、教科によつては内容が類似しています。そのため、分ける必要がないと思います。国数理社英は、一般教養の参考書のみ勉強していました。それだけで全科の問題も解くことができました。ただし滋賀県の全科では、副教科の大問があるのと、全教科の学習指導要領の文章の穴埋め問題が出てくるのでそれに対応できるように参考書の赤シートを使って覚えました。

勉強を始めるのは早いに越したことがないですが、本腰を入れて勉強するのが遅くなってしまうこともあると思います。とにかく過去問を解いて出題傾向を知って勉強することが重要です。

(3) 二次試験の項目とその対策

① 個人面接

② 模擬授業

③ 体育実技・英会話

【個人面接】

個人面接の対策は、7月に4回ある教育実践論で先生に面接を見ていただく

ことに加えて、自分から面接練習する機会をたくさん作る必要があります。教育実践論は練習を披露する場と考えた方がいいと思います。ここでは、私が行ってよかった対策を紹介します。

多様な人と面接練習を行うことです。私は、滋賀大学の先生方が運営している「教師のためごサークル」に所属し、3回生の3月頃から練習をしていました。教育実践論の仲間だけでなく、多様な人と面接練習を行うことで、真似できる良いところをより見つけることができそうです。忘れないように面接ノートを作ってまとめていくことをおすすめします。

実際に、面接試験当日は考えてもなかった質問がきて焦ってしまいましたが、爽やかな明るい笑顔で応じることを意識しました。動揺することもあるかと思いますが、明るく笑顔で応じることも大事だということを忘れないでください。

【模擬授業】

模擬授業の対策は、二次試験の1か月前くらいから始めました。模擬授業の対策で一番ためになったことは友達との見せあいです。私は模擬授業こそ仲間と協力して取り組むものだと思います。友達との授業を見ることで、互いにアドバイスでき、自分では思いつかなかったアイデアや話し方、授業の導入の仕方を学べます。

また、模擬授業する際に意識したことは、子どもたちの身の回りの事象や経験を踏まえた発問をすることです。滋賀県はそういった観点を大事にしているのです。ぜひ取り入れて練習してみてください。

4. さいごに

最後までお読みいただきありがとうございます。教員採用試験はこれまでの受験とはまた違ったプレッシャーを感じ、心配に思うこともきつとあると思います。でも、その心配は必要な心配です。だからこそ必死に勉強できます。そして、試験当日はこれまでの頑張ってきた自分を信じて、自信をもって力を出し切ってください！これから試験に挑む皆さんを心から応援しています。

合格体験記【中学校・理科】

滋賀県 K さん（理科専攻）

1. はじめに

教員採用試験は、私にとって学生生活の集大成でした。試験勉強や面接練習を通じて、多くの仲間や先生方に支えられ、成長できたと感じています。本体験記では、私が実践した勉強法や試験対策、面接のポイントを紹介し、これから挑戦する皆さんの参考になればと思います。

2. 教師という職を選ぶまで

私が教師を志したのは、小学4年生のときでした。その目標を持ち続け、滋賀大学教育学部に入學し、希望通りの専攻に進みました。大学では、目標に向かって日々レポートや実験に取り組みながら学びを深めていました。

しかし、大学3年生のときに、その目標が揺らぐ出来事がありました。教育実習やスクールサポーター活動を通じて、現場の実態を直接学ぶ機会を得たのです。

教育実習を終えた後、それまで共に教員を目指していた友人たちが、企業や別の公務員への道へと進路を変更しました。彼らは「教師という職業が自分には合わない」と考え、それぞれの新たな道を選択していました。その姿を見て、私自身も将来への不安を抱くようになりました。

そのような気持ちの中でも、私はスクールサポーター活動を継続して行いました。その活動の中で、私は教師になりたいという思いを再び見いだすことができました。スクールサポーター活動では、教育実習とはまた異なる立場から生徒や教師と関わることで、多くの生徒や教師と関わる中で、体育祭や文化祭の達成感、生徒との喜びの共有、受験を控えた生徒たちとの切磋琢磨といった経験を重ねました。そうした経験を通じて、私は改めて「教師という職業を自分の道として選びたい」と確信しました。

3. 試験項目とその対策

(1) 試験項目

自治体	滋賀県
一次試験	小論文 専門教科
二次試験	一般教養・教職教養（択一式） 集団面接、個人面接、模擬授業

(2) 一次試験の対策

【小論文】

滋賀県の小論文対策には、お題に関する知識を持つことが最も重要です。毎年、『滋賀の教育大綱』、『滋賀県教育復興基本計画』、『中央教育審議会答申』などの内容が幅広く取り上げられるため、これ

らを熟読し、ノートに要点をまとめることを推奨します。

知識を身につけたら、30分以内に書く練習を毎日続けることが大切です。書く習慣をつけるため、毎日1つのテーマに取り組みとよいでしょう。また、3回生の冬から開講される「教職実践論」では、小論文を添削してもらえするため、受講をおすすめします。さらに、友人と添削し合ったり、良いアイデアを共有することで、引き出しを増やすのも有効です。

小論文を書く上で最も重要なのは、各テーマに対し、具体的な取り組みを2つずつ考えておくことです。私はアイデアをすぐに思いつくのが苦手で、時間内に書き上げられませんでした。そのため、あらかじめ各テーマの構想をまとめることで、短時間で整理できるようになりました。「生きる力の獲得」「個別最適な学び」「協働的な学び」「Well-being」などのキーワードに対し、自分が子どもたちにどのような支援ができるかを考え、事前にアイデアを整理しておくことが、効率的な小論文作成につながります。

【専門教科】

専門教科の勉強では、受験する自治体の問題傾向をしっかりと把握することが重要です。各自自治体で問題の形式や難易度が大きく異なるため、他県の問題を参考にしても不安が増すばかりで、あまり役に立たないこともあります。そのため、受験自治体の過去問を分析し、出題傾向を把握することを優先しましょう。勉強の進め方としては、まず基礎を重点的に復習し、対策を取ることをおすすめします。試験内容は比較的容易で、

中学レベルの問題が多いものの、時折、高校の物理・化学の共通テストレベルの問題が出题されることがあります。そのため、幅広く基礎を固めることが重要です。また、学習指導要領の改訂により、自分が学んだ解法や単語と異なる場合もあるため、一から学び直すつもりで取り組むとよいでしょう。

私の場合、まず過去問を分析し、問題の傾向をノートにまとめました。その後、『新研究』や高校入試対策の問題集を活用し、中学理科の復習を徹底しました。さらに、高校の物理基礎・化学基礎のワークを教科書と併用しながら解き進め、時間をかけて理科の知識を一からインプットし直しました。

このように、受験自治体の傾向を把握し、基礎を固めた上で、必要に応じて高校レベルの内容も学習することで、より効果的な対策ができます。

【一般教養・教職教養】

私は学内推薦を頂いたため試験は免除されましたが、それまでの勉強方法を紹介します。

一般教養・教職教養の学習は、できるだけ早い段階で始めることをおすすめします。その理由の一つは、小論文対策に必要だからです。小論文では教育に関する知識が求められるため、暗記を後回しにすると、いざ小論文の練習を始めたときに全く書けなくなる可能性があります。小論文対策と並行して暗記を進めるのは負担が大きいため、早めに取り組んでおく余裕を持つて準備ができます。もう一つの理由は、勉強の習慣をつけるためです。大学生活ではレポート作成に

追われる時期もありますが、3年生になると比較的余裕が生まれる人も多いでしょう。しかし、いざ教員採用試験の勉強を始めようとしても、なかなか机に向かう気持ちが湧かないことがあります。大学受験時には毎日何時間も勉強していたはずなのに、不思議なものです。これは単なる「慣れ」の問題であり、一度習慣化すれば長時間の勉強も苦にならなくなります。そのため、早い段階から学習を始め、勉強のリズムを整えておくことが重要です。

(3) 二次試験の項目とその対策

【集団面接】

昨年まで集団面接は実施されていなかったため、特別な対策は行いませんでした。しかし、企業を選考を受けた友人から「集団面接では持ち時間を超えることは絶対にNG」と聞いていたため、試験当日は時間内に収まるように話す量やスピードを調整することを意識しました。

また、その練習として、個人面接の対策と並行して、簡潔かつ的確に伝える力を養うよう努めました。

【個人面接】

個人面接の練習は、大学推薦を受けるために4月頃から少しずつ開始し、本格的に取り組んだのは一次試験の結果が出てからでした。結果が出るまでは二次試験への意欲が湧きにくいものの、少しでも早く準備を始めると後々の負担が軽減されるため、早めの対策をおすすめします。

私の場合、結果発表から試験日まで

2週間しかなく、かなり焦りました。そのため、部活や専攻の友人に加え、友人の知人など幅広い人と練習することで、多様な視点からフィードバックを受けることを意識しました。同じ人とはかり練習すると話す内容が固定化しやすいので、多くの人と練習することが大切です。試験当日は1対3の形式でしたが、面接官の方々は皆優しく、うなずいたり笑ったりして共感を示してくれました。落ち着いて、自分の強みを最大限発揮することが重要です。

【模擬授業】

滋賀県では過去問の出題傾向が高確率で繰り返されると言われているため、私は学校の就職支援室にある過去問をすべて確認し、模擬授業案を作成しました。出題内容は「授業の山場を指導せよ」というものですが、個人的には導入部分の工夫をおすすめします。導入は、生徒の興味・関心を引きつける重要な要素であり、何より授業を進めやすくする効果があります。

また、模擬授業を考える際には、生徒の立場に立った授業設計を意識することが大切です。どれだけ内容を凝っても、試験監督にはその意図が伝わりにくいいため、専門的な話を多くするよりも、生徒と対話するシーンを増やした方が効果的です。さらに、ICTを活用し、生徒の興味を引く工夫をするといよいでしょう。

そのため、板書の量は最低限に抑え、なるべく前向き、生徒の表情を見ながら進めることが重要です。

4. さいごに

最後まで読んでいただき、ありがとうございます。教員採用試験は、私の学生生活の集大成とも言えるものでした。それは、単なる学力の評価ではなく、部活動での経験や、先輩・後輩、先生方との関わりを通じて培った力が問われる試験だったからです。

卒業を目前にした今、改めて感じることがあります。それは、滋賀大学教育学部に入学し、素晴らしい友人、先輩、先生方に恵まれたからこそ、この挑戦を乗り越えられたということです。教員を目指す道のりは決して一人で進むものではありません。皆さんも、人との縁を大切にし、同じ志を持つ仲間と協力しながら、目標の実現に向けて歩んでいってほしいと思います。

合格体験記【中学校・英語】

大阪府 Aさん（英語専攻）

1. はじめに

この度は、このような貴重な機会をいただきましたことを心から感謝いたします。これから自分の将来と向き合っていく後輩の皆さんに、少しでも役に立つ情報を提供できればと考えております。

2. 教師という職を選ぶまで

最初に教師という仕事にアこがれを持ったのは中学生の頃でした。中学1、2年生のときの担任の先生が生徒一人ひとりのことをとても大切にされていて、悩み事があったときには丁寧に

相談に乗ってくださったのがとても印象的でした。幼少期から英語を習っていたこともあり、得意の英語を活かすことができ、また、私のように何かに悩んでいる子どものそばにいてあげられるのは教師しかないと思います、中学校の教師を志すようになりました。

滋賀大学教育学部に入學してからは、同じ志を持つ仲間と教育に対するさまざまな考えを共有し、教師という仕事の意義を改めて実感しました。とはいっても、の、ずっと憧れていた中学校への教育実習は決して「充実感」の一言で済むものではなく、中学校の教師が向いていないのではないかと考えたこともありました。しかし、アルバイト先の英会話教室で中学生に指導するなかで、簡単に夢を諦めたくないと思い、教員採用試験では中学校の英語で出願しました。

教員採用試験の出願の時期は副実習に行く前だと思うので、自分の希望する校種と他の校種と比較できないかもしれませんが、出願する前に自分の性格、教師になって何を一番頑張りたいか、そしてそれが一番合っている校種はどのなかをきちんと考えることが大切だと思えます。もちろん一人で考えるだけでなく、友人や家族、先生などにも相談し、第三者目線での自分の姿を知ること、校種を決めるうえで大きな手がかりとなるかもしれません。それによつては、私立の教員、予備校、一般企業など、さらに選択肢が広がると思うので、視野を狭めず、さまざまな可能性を加味したうえで決断してほしいです。

3. 試験項目とその対策

(1) 一次試験の項目

(2025年度試験…6/15)

・教職教養・一般教養：マークシート問題

(2) 一次試験の対策

滋賀県などの他の多くの自治体が一次試験(6月)に教職教養・一般教養に加え専門科目があるのに対して、大阪府は専門科目が8月の二次試験までないので、大阪府を受験予定の人はまず教職教養・一般教養から勉強し始めることをおすすめします(大阪市・堺市・豊能地区も同様)。私は3回生の10月下旬から「教職教養30日完成」という書き込みタイプの問題集を使い、どのような内容が教員採用試験で出題されるのかを理解するところから始めました。分厚い問題集や参考書を購入している友人もいましたが、時間が限られていたうえに自分にはそのような参考書が向いていないと思い、基本的には何度も過去問を解いていました。

大阪府は必ず学習指導要領の「総則」(3年前までは中学校、直近3年は小学校の学習指導要領)の穴抜き問題や教育心理・教育史の人物問題が必ず出るといった傾向があるので、総則を何度も読んだり、重要人物を赤シートで隠しながら書いて覚えたりしていました。また、新しい法律など(教育基本法…短いのので丸暗記がおすすめ、子ども基本法、こども大綱、児童の権利に関する条約、第4期教育振興基本計画など)も出やすいので、どのような内容が書かれているのかある程度理解しておくよ

私の場合、通学中の電車の時間が長かったので「教職教養要点まとめ&一問一答」という本を買い、赤シートで隠しながら法律のキーワードや教育時事を見ていました。時間に余裕がある人は、全国の教員採用試験の教職教養の過去問を解くと、全国で共通して出てくる法律などがあるので、いかにその法律が大事かわかります。試験直前はYouTubeで法律を読み上げている動画をひたすら聞いていました。

ここまではおそらく他の自治体と何ら変わりはありませんが、問題は一般教養です。大阪府では、中学校レベルの5教科の問題が出るのではなく、文章理解、判断推理、資料解釈、数的処理など、公務員試験と似た形式の問題が出題されます。数的処理は慣れるまで解くの

に時間がかかるので、公務員試験対策の問題集を解いていました。

一次試験は教職教養15問、一般教養15問の合計30問で、試験時間は90分です。例年だと時間は比較的余っていたのですが、私が受けた2025年度は全部解き終えることができませんでした。なので、教職教養をできるだけ早く解き終え(15分ほど)、一般教養は少し考えて分からない問題はすぐ飛ばすくらいの感覚でいた方がよいと思います。

(3) 二次試験の項目

〈専門科目〉2025年度試験…8/10

①筆記試験

②リスニング試験

③実技試験

〈個人面接〉2025年度試験…

7月下旬から9月上旬までの1日

(大阪府は期間の幅がとても広いですが、小学校志望の受験者からといった順番はなく、校種、教科ごとでバラバラでした。ちなみに私は9月上旬とても遅かったです。)

①個人面接

②模擬授業

(4) 二次試験の対策

【筆記試験】

最後の自由記述のテーマ以外は、中学校・高等学校で共通の問題となつています。なので、大問1の小問も含め、全体の単語のレベルは英検準1級〜1級レベル、文法項目は高校レベルのものが出ます。大学受験のときに使っていた単語帳では足りず、英検準1級の単語帳を使っていました。筆記の試験時間は70分ととても短いので、過去問を解く段階からしっかりと時間を測って練習することが大切です。長文読解は、大阪府だけでなく全国の教員採用試験の過去問をたくさん解き、早く読むことに慣れるようにしていました。教育に関する法令などに下線が引かれていてそれを英文に直す問題と、それに関して自分がどのような授業を行っていたかなどを書く自由英作文問題があるのですが、教育に関するフレーズを英語で書けるようにしておく

【リスニング試験】

過去問に音声はついておらず、スク립トのみが書かれています。なので、Wordにスク립トを打ちこみ、読み上げ機能を使って練習していました。また、英検準1級リスニング問題のPart1と

問題形式が同じだったので、英検の過去問でも練習していました。

【実技試験】英語スピーチ

お題を渡されて2分考える時間が設けられ、その後2分間英語でスピーチをする、そしてそのお題に関する質問を3問ほどされるという流れでした。これらに関しては一人で対策ができませんでした。これら大学の英語専攻の先生に7月上旬から週1〜2回、対面やZoomで練習をお願いし、また、高校の英語の先生にもお願いして対策してもらっていました。先生からのアドバイスや新たに学んだフレーズなどはノートに書き溜め、汎用可能なものに関しては何度も言いながら頭に叩き込んでいました。ノートを作っておくと、試験当日も見返ししやすいのでおすすめです。

【個人面接】

校種、自治体にかかわらず、自己PRや志望動機などは他の人と何度も練習し、すぐ答えられるようにしておくという指示をされることもあるので、その練習もしておくという良いかもしれません。大阪府に限らず、端的に(30秒ほど)はつきり言う練習は必要です。多くの自治体が、一つの質問からさらに追質問をしてくるので、どのような追質問が来るか予想しながら何度も練習しました。基本的に結論→理由・具体例の順に話すのにも慣れておくという良いです。大学の先生や友人と練習した際に、早口だということと、分からない質問が来たときに下を向く癖があると指摘をいただいたので、

表情、話すスピード、目線などは特に意識して練習しました。英語のスピーチと同様に面接対策のノートを作り、面接官に絶対に伝えたいキーワードや大阪府の教育の特徴などをたくさん書き込んでいました。

大阪府は面接個票の書き方が独特です。ただ文字だけを書くのではなく、面接官がその場で見てすぐわかるよう、図のようなものにして書きます。個票の書き方や大阪府の教育問題など、大阪府の教員採用試験に詳しいのは大阪教育大学の人や大阪府で働いている先生方です。滋賀県以外の自治体を受験予定の方は、その都道府県の(教育系の)大学に通っている人や先生から情報を収集することが大切です。

【模擬授業】

個人面接と模擬授業の日程は一次試験合格後に出るのですが、テーマはその少し前にネットに上がるので、上がり次第模擬授業を練り始めました。明確な単元が提示されるのではなく学習指導要領解説の一部を抜粋したものに見合った模擬授業をするというもので、自分のやりやすい単元を選びました。このように、大阪府は事前にテーマが出され、メモを見ながら模擬授業を行うことができるので、焦らずに模擬授業を行うことができますが、時間が4分30秒と非常に短く板書もできないため、その中でいかに自分の味を出せるかが難しかったです。私は、公立中学校には英語が全て理解できない子どももたくさんいると考え、オーリイングリッシュでの模擬授業は行いませんでした。特に減点の気配はなかったため、

万が一理由を聞かれてもこちら側の意図をきちんと伝えられたら良いのだと思います。どの自治体も目線やスピード、子どもへの声の掛け方など注意すべき点は同じです。何回も練習し、本番に向けてどんどん極めることが大切です。

4. さいごに

長々と書きましたが、最後まで読んでいただきありがとうございます。「教採は大学受験に比べれば大したことない」といった声もちらほら聞こえるのですが、いざ試験前になると不安や緊張に襲われますし、私の場合、友人が7月下旬から8月上旬に試験が全て終わっているなか9月上旬まで試験勉強をしなればいけないのがとてもしんどかったです。しかし、周りに同じ境遇の友人がたくさんいたり、先生方が何度も教採対策を行ってくださったりするのは、教育学部の大きな強みの一つです。私自身も、そばで一緒に頑張ってくれる友人や応援してくださる先生がいなければ、ここまで必死に勉強していなかったと思います。さまざまな人とたくさん情報を共有し、切磋琢磨して合格を勝ち取ってほしいです。

合格体験記 【幼児教育職】

栗東市 K さん (幼児教育専攻)

1. はじめに

今回、合格体験記を書く機会をいただきましたことを心から感謝いたします。私は、栗東市の他に他市を2つ受け

ました。幼児教育職は市町村ごとの採用になるので、複数の市を受けることができます。複数の市を受けることはどこかに受かる可能性が高くなり、安心にもつながりました。しかし、2次試験で日程が被ってしまい1つの市を辞退することになったり、3日連続で面接、筆記試験、実技試験と異なる内容の試験を受けなければならなかったりとデメリットもありました。このような私の経験をお伝えし、皆さんの力になれば幸いです。

2. 教師という職を選ぶまで

私は、幼い頃から幼児教育職への憧れがありました。しかし、親族に小学校以上の教師が多いことから、小学校教諭になることも悩みました。どちらにも実習に行き、子ども一人ひとりに寄り添った援助がしやすいところに惹かれ、幼児教育職を選びました。

少しでも進路に迷いがある方は、実習やボランティアなどでそれぞれの現場を経験して選ぶことをお勧めします。

3. 試験項目とその対策

(1) 1 一次試験の項目

日時：7月13日(土)

内容：集団面接(30分程度)(グループ5人、面接官3人)

①栗東市に入庁したら挑戦したいことや気をつけたいことは何か。

②今までチームなどの中でどのような役割になる事が多かったか。また、人間関係で大切にしたいことは何か。

③挫折経験はあるか。その時にそのどう対処したか。

④今関心がある事は何か。

(1) 2 一次試験の対策

集団面接の対策については、教育実践論で指導いただいた項目について自分なりの答えを考え面接ノートに書きだしていました。その他にも、教員採用受験者報告書にある質問やインターネットで調べた面接でよくある質問について自分の答えを考え、ノートに書いていました。また、教育実践論の授業内で模擬面接を行ってくださり、それが非常に良い練習になりました。保育や教育、公務員に対する自分の考えをまとめることや今までの成功体験や失敗体験を思い出し出しておくことが大切だと思います。

(2) 1 二次試験の項目

日時…8月4日
内容…

1. 筆記試験

- SPI試験 言語(30分)↓非言語(40分)↓性格検査(40分)
- 時間になると次に進むように指示があり、1つ前には戻れない。

• 論文試験(60分)

400字以上600字以内
お題が書かれた用紙1枚とマス目がある用紙1枚が配られる。

『就学前の子どもに育みたい力と保育者の役割』

認定こども園保育教育要領の一文が書いてあり、それを踏まえて、子どもへのウェルビーイングを向上させるために育みたい力とそのためになどのような保育をしていきたいか書きなさいというお題。途中退室可。

2. 実技試験

• ピアノ(5〜10分程度)

課題曲…バイエル90番

1,2週間前に90番と指定あり。

自由曲…季節の曲の弾き歌い

自分で好きな曲を選んで、当日は楽譜を持参し弾き歌いをする。

前後の語りかけ等はなし。

模範保育(5〜10分程度)

5歳児がいる想定で手遊びなどの導入から素話をする。

『ももたろう』さんびきのこぶた(あと一つお話がありました忘れませんでした)からか、もし他のお話が良ければ他のお話でも可との指示あり。何分かは伝えられていないので分からないが、途中でとめられて試験終了となる。

(2) 2 二次試験の対策

まず、筆記試験の対策について、SPIは同じ問題集を何度も解くことが大切だと思います。私は、まずSPIの問題や解き方に慣れるために難易度が低い問題集を5,6周しました。問題に慣れ、素早く解けるようになったら、少し難易度の高い問題集を時間を意識しながら繰り返し解くようにしました。SPIは何度も同じ問題を解いて問題の形に慣れておくこと、また時間を意識して解くことが重要だと思います。論文試験については、栗東市は過去の論文試験のデータが滋賀大学に残っていません。論文を書き、他の市の過去に出た題で論文を書き、教育実践論の先生方やキャリア支援の先生に添削してもらっています。論文試験では、幼児教育に関する

考えや専門的な知識を問われる題が出題されることが多いので、他の市を受けるために、幼児教育の専門試験の勉強をしていたことや面接対策で保育や教育などについて考えていたことが役に立ちました。論文の添削は自分ではできないので、周りの先生方に添削をお願いし、ご指導していただくのが良いと思います。

次に、実技試験の対策について、ピアノは、教育実践論で週に1度、先生にご指導していただきました。栗東市は例年、ピアノの試験はバイエル90番以降から1曲と好きな季節の曲の弾き歌いでした。なので、バイエル90番以降を順に練習し、先生にご指導していただき、それを踏まえてまた練習するというのを繰り返ししました。また、季節の曲は半年前から保育の基本的な歌をたくさん練習していました。2次試験は他市と日程が被り、どちらを受けるか迷っていたため、本番に弾く好きな季節の曲を選ぶのがギリギリになりましたが、それまでに様々な曲を練習していたため、すぐに対応することができました。ピアノの試験は、バイエルやソナチネ、初見の弾き歌いや自由曲の弾き歌いなど市によって内容が異なるので、自分の受ける市の内容を調べて、そのあった練習をすることが大切だと思います。

模範保育については、昨年まで手遊びと絵本の読み聞かせだったので、様々な年齢に合った手遊びと色々な絵本を読む練習をしていました。当日まで模範保育の内容が分からなかったもので、試験が始まり、素話と知った時は驚きました。が、色々な絵本を読んでいたこと、保育士試験で素話の練習をしていたことが

役に立ち、本番は焦ることなくやりきることができました。手遊びなどの導入からお話をするという点は絵本の読み聞かせと同じだったので、手遊びや手遊びからお話までの語りかけを練習していたことも落ち着いて対応できた要因だと思います。代表的な童話や年齢ごとの手遊びを覚えておくことが重要だと思います。

(3) 1 三次試験の項目

日時…9月21日

内容…個人面接(7分程度)

- ① 困難な時、苦しいことに立ち向かうときにどのように対処していくか。
- ② 人をサポートするとき心がけることはなにか。
- ③ 公務員として地域の人と関わる上で大切にしたいことはなにか。
- ④ 公立と私立の違いは何か。その上で公立で大切にしたいことはなにか。
- ⑤ 特技のギターは子どもたちの前で演奏する曲はあるのか。
- ⑥ 子どもとの関わりの中で大切にしたいことはなにか。

(3) 2 三次試験の対策

個人面接でも、教育実践論で指導していただいたことや、教員採用受験者報告書などの質問に対して自分なりに考えて、面接ノートにまとめていたことが役に立ちました。面接は、声に出して練習することが重要だと思います。私は鏡に向かって表情や姿勢なども確認しながら練習をしていました。また、友だちと練習することで、新しい考えを知ることができたり、人に話す力がついたり、質問に瞬時に答える力がつきました。個人面接でも、

保育や公務員についての考えや今までの経験や受ける市について考えておくことが大切だと思います。そして、本番はハキハキ笑顔で自分の考えを自分なりに伝えることができれば良いと思います。

4. さいごに

最後までお読みいただきありがとうございます。幼児教育職の試験は他の教職の試験よりも期間が長く、焦りを感じたりネガティブになったりすることもあると思います。また、自分の将来について深く考え、悩んだり、不安になったりするかもしれません。しかし、採用試験を通して、幼児教育職への思いや考えを再認識できたり、知識を深めることができたり非常にいい経験になりました。周りの友だちと支え合いながら、時には友だちと遊んだり、旅行に行ったり息抜きをして最後まで頑張ってください。良い結果になるように応援しています。

合格体験記【公務員】

滋賀県小中学校事務職員Ｔさん(家庭専修)

1. はじめに

私は警察事務、小中学校事務職員を受験しました。公務員試験を通して感じたことがみなさんにとって少しでも参考になれば嬉しいです。

2. 志望理由

私は大学生活で教育について学ぶ中で、教育実習などの教育活動を通して教師の職務が多様かつ複雑化している

実態を目の当たりにし、教師がより教育指導に集中できるような環境を整えることが求められていると感じたため、学校事務として働きたいと考えるようになりました。

3. 公務員試験を受けるにあたって

公務員試験を受けるにあたってまず始めたことは、受験された先輩から経験談を聞くことでした。周りの友達や先輩のほとんどが教員採用試験を受ける中で、警察事務、小中学校事務職員を受験する人は少数でした。試験についてはHPからも見ることはできませんが、受験方法や試験科目の違いなどは経験者から学ぶ方がよいと思い、大学内の就職支援室を通して内定者の方にお話を伺いました。

4. 公務員試験について

警察事務含む上級試験では、教養科目と専門科目の筆記試験、小論文、集団討論、面接があります。小中学校事務含む初級試験は、教養科目の筆記試験、作文、集団討論、面接が受験科目です。教養科目の試験は共通テストを思い出していたと分かりますかと思うのですが、五教科を一科目にまとめたようなものでした。ただ、その中の数的処理の問題については数学とは全く異なるため、時間をとってしっかり取り組まれた方がよいと思います。そして一番厄介だったのは専門科目の試験でした。これはさまざまな法律などの問題から得意分野を選択できるのですが、どれも得意だったので苦戦しました。私は試験勉強のスタートが遅く、3回生の11月から試験勉強を始めたので、一から全部覚えるのはあきら

めて、過去問や模試でわからなかった分野をひたすらノートにまとめるという方法で勉強をしました。また予備校のオンライン授業を一日2コマのペースで受講していました。

5. 面接練習について

私は受験したものが多く、その筆記試験対策に時間をとられてしまい、面接練習に時間を割くことができませんでした。公務員を目指す方はいくつか受験されると思いますが、面接の日程までを含めてスケジュールを把握し、無理ない範囲で受験することをお勧めします。

6. さいごに

公務員試験中は、悩みを共有できる友達が少なく、心細く感じてしまう時もあると思います。私自身も周りが教員採用試験を終える中で、一人だけ就職試験を続けなければならぬことに焦りを感じることがありました。ですがここを乗り越えることができれば、就職に対する不安も自信に変わると思います。少し無理はしても無茶はしないように、息抜きもしながら就職活動頑張ってください。応援しています。



○授業・休業・退学等に関すること 教務係	TEL 077-537-7707	電子メール kyomu@edu.shiga-u.ac.jp
○学生生活、課外活動、授業料免除、奨学金、留学、就職等に関すること 学生・就職支援係	TEL 077-537-7708	電子メール soudan@edu.shiga-u.ac.jp
○大学院教育学研究科、特別支援教育専攻科の入試に関すること 入学試験係	TEL 077-537-7711	電子メール nyushi@edu.shiga-u.ac.jp
○健康に関すること 保健管理センター分室	TEL 077-537-7709	電子メール hoken@edu.shiga-u.ac.jp
○教育学部教員に関すること 総務係	TEL 077-537-7704	電子メール syomu@edu.shiga-u.ac.jp
○図書館(教育学部分館)の利用に関すること 情報管理サービス第二係	TEL 077-537-7710	電子メール tosy@edu.shiga-u.ac.jp

対象：滋賀大学教育学部在学生・OB・OG および 関係のみなさま

滋賀大学教育学部

創立 150 周年記念事業



第1部 滋賀大学教育学部創立150周年記念式典

第2部 滋賀大学教育学部創立150周年記念
祝賀会・懇談会・ホームカミングデー



滋賀大学教育学部は、2025年に創立150周年を迎えました。

これを記念して、2025年11月8日(土)に名誉教授もお招きし

記念式典・祝賀会・懇談会・ホームカミングデーを開催します。

同日には、紫雅祭(学園祭)も開催されます。

教育学部にゆかりのある方々が交流を深める良い機会となりますよう、
みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



日時

2025年11月8日(土)

事前申し込み制

【第1部】13:00～ 【第2部】14:30～

場所

滋賀大学 大津キャンパス

【第1部】大中講義棟(予定) 【第2部】大学会館1階(予定)

編集後記

今後、後援会だより「つるばみ」の内容を充実していくために、会員の皆様の感想や要望、後援会、教育学部に対する要望等、ご意見がございましたら下記までお聞かせください。

滋賀大学教育学部

〒520-0862 大津市平津二丁目5-1

電話 077-537-7703

FAX 077-537-7840

滋賀大学教育学部基金

この基金へは、教育学部の卒業生や保護者、大学関係者、附属学校園の関係者、広く一般の皆様方からのご寄附をお願いいたします。集まったご寄附は、その全額を教育学部(附属学校園も含む)の教育研究環境の充実、学生の学修支援、教育環境整備、地域貢献、共同研究の促進、研究の高度化に加えて、150周年記念事業の実施のために活用させていただきます。皆様のご支援をお願い申し上げます。

<https://www.edu.shiga-u.ac.jp/150thanniversary>

